



[野菜部門]

[農業研究所ホームページへ](#)

5. 岡山県中北部におけるカリウム葉面散布によるトマト葉先枯れ症の抑制効果

[要約]

岡山県中北部地域のトマト「桃太郎ワンダー」の夏秋雨除け栽培では、7～9月に週2回、硫酸カリウム500倍水溶液を葉面散布すると、葉先枯れ症の発生が軽減される。

[担当] 農林水産総合センター農業研究所 高冷地研究室

[連絡先] 電話0867-66-2043

[分類] 情報

[背景・ねらい]

本県中北部の夏秋雨除けトマト産地で用いられるトマト「桃太郎ワンダー」は草勢が強く秋期収量は多いが、カリウム欠乏が要因とされる葉先枯れ症が発生しやすい。葉先枯れ症は、葉や果実に灰色かび病を誘発させることがあり、問題となっている。そこで、カリウム資材の葉面散布による葉先枯れ症の抑制技術を本県で栽培面積の多い「桃太郎ワンダー」で明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. トマト穂木「桃太郎ワンダー」、台木「グリーンフォース」の接ぎ木株に、7～9月の間、週2回、硫酸カリウム500倍水溶液を葉面散布することで、葉中のカリウム含量が増加する（表1）。
2. 硫酸カリウム500倍水溶液の葉面散布により、葉先枯れ症の発生程度が軽減される（図1、図2）。

[成果の活用面・留意点]

1. 本試験は、岡山県真庭市蒜山の農業研究所高冷地研究室の夏秋雨除けハウスでの結果である。
2. 硫酸カリウムは、実験用試薬（純度99.0%）を用い、展着剤は添加せず、単独使用している。
3. 本試験では、硫酸カリウムの葉面散布以外に通常管理として、両区にカリウムが含まれる市販の葉面散布資材であるメリット黄®、メリット赤®の葉面散布を行っている。
4. 本試験では、カリウムを含む市販の葉面散布資材による葉先枯れ症軽減効果は確認していない。



[具体的データ]

表1 調査花房段における花房直下の葉の葉中カリウム含量（%）（2021年）

花房段数	6	9	12	平均
処理区/調査日	7月20日	8月10日	9月16日	
カリウム葉面散布	0.26 ± 0.02 ^y	0.36 ± 0.02	0.36 ± 0.01	0.33 ± 0.02
対 照	0.21 ± 0.02	0.26 ± 0.01	0.34 ± 0.02	0.27 ± 0.01
t 検定 ^z	n. s.	n. s.	n. s.	*

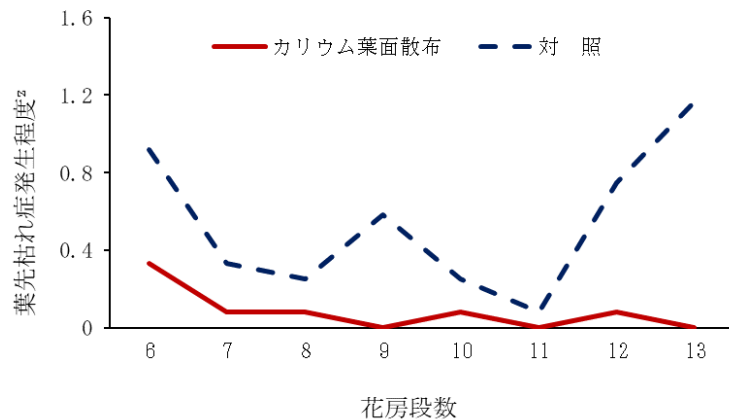
^z *は危険水準5%で有意差あり、n. s. は有意差なしを示す^y 標準偏差

図1 調査花房段毎の葉先枯れ症発生程度（2020年）

^z 葉先枯れ症発生程度は0～5の6段階で評価した（0：発生なし、1：わずかに症状を確認、2：先端約1/8に症状、3：先端約1/4に症状、4：先端1/2に症状、5：先端1/2以上に症状）

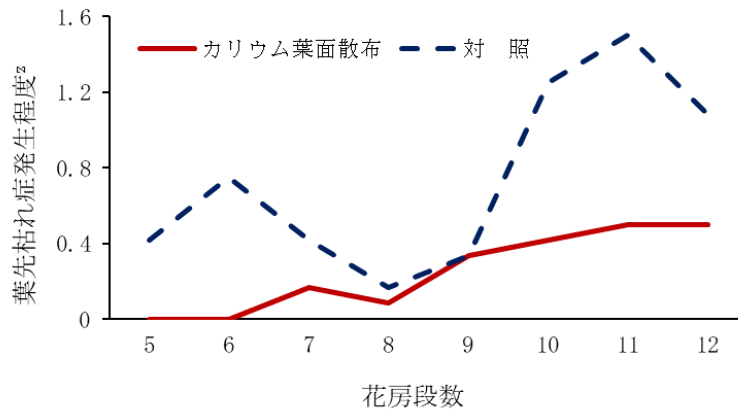


図2 調査花房段毎の葉先枯れ症発生程度（2021年）

^z 葉先枯れ症発生程度は図1と同様

[その他]

研究課題名：夏秋雨除けトマト栽培における秋期増収技術の開発

予算区分・研究期間：県単・平29～令3年度

研究担当者：山下尋揮

関連情報等：1) 試験研究主要成果、[令元 \(32-33\)](#)